

特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会

高齢者むけICT支援活動事例
インターネット防災訓練

老テク研究会代表

NPOブロードバンドスクール協会理事長代理

大島 真理子

<https://broadbandschool.jp/>



高齢者むけICT支援活動事例

インターネット防災訓練

大島真理子

老テク研究会代表

NPOブロードバンドスクール協会理事長代理

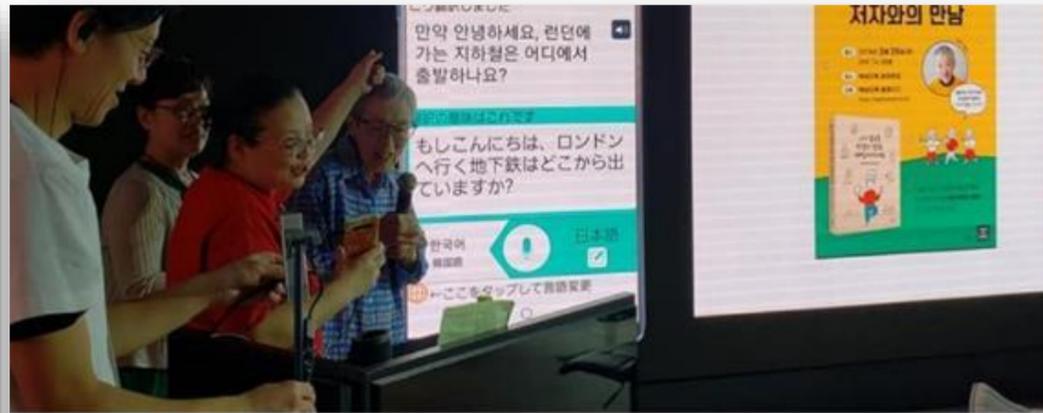
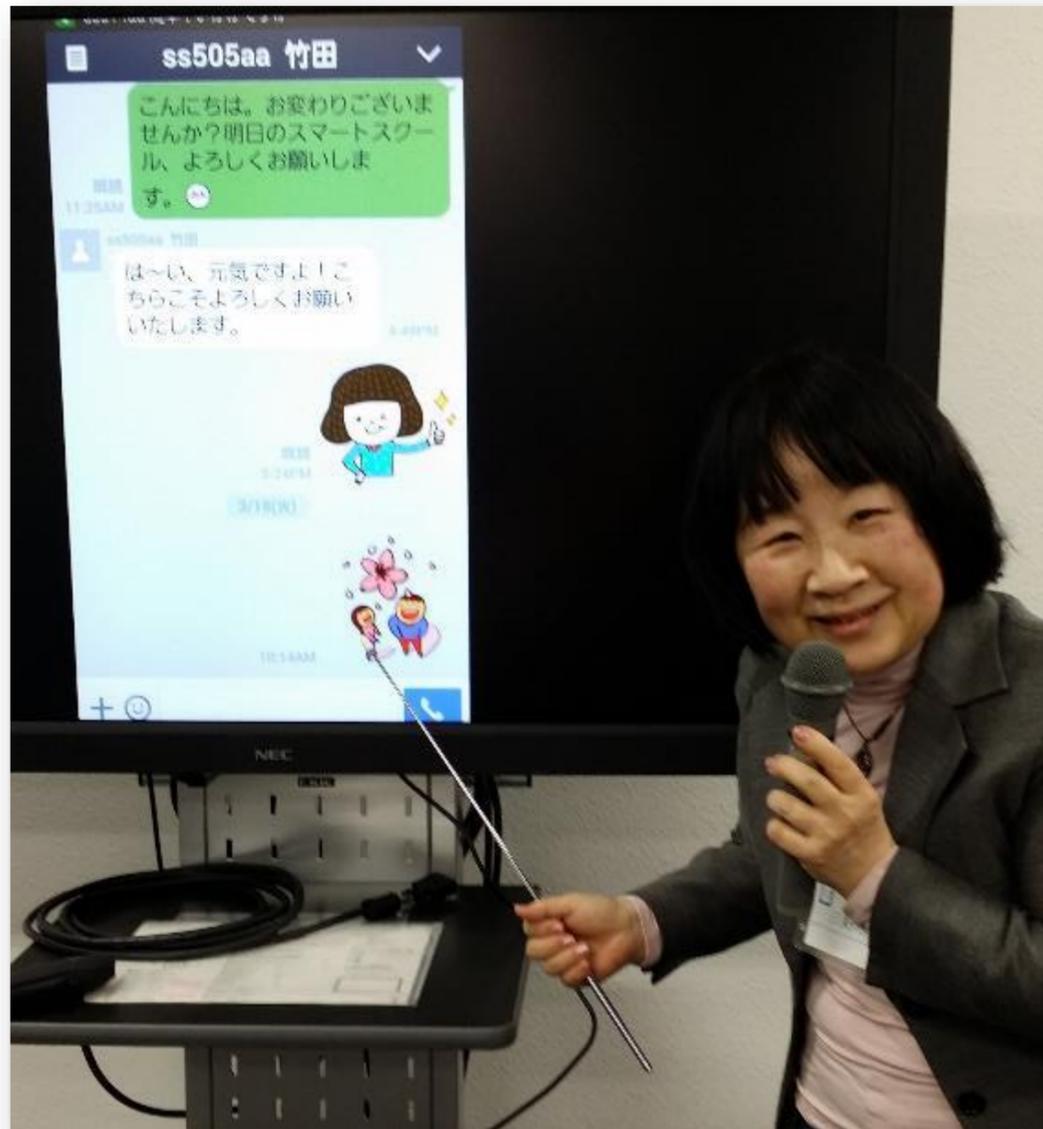
<https://broadbandschool.jp/>



私たちは高齢者が参加しやすく、主催者や講師に負担の少ないスマホ講座・相談会として、自治会・町内会と連携した「防災」をテーマにしたスマホ講習会を2021年からご提案しています。

現在は、東京・仙台・横浜などで実施していたシニアむけスマホ講座をZOOMを利用してオンライングループ勉強会、個人むけにオンラインでもサポートを行っています





自然災害の多い日本



自主防災組織である 30万の自治会・町内会



町内会長さんや役員は70代以上が多く、ICTが苦手な人が多い。若い世代と価値観も違い、情報共有が難しい役員になりたくないのも退会する人も多いが、なかなか本当のことを言えないので困っている。



防災をテーマに遠隔・高齢者ICT講習会を企画 2021年10月から自治会・町内会むけインターネット防災訓練を 開始し、これまで10回実施



インターネット防災訓練研究会会長は仙台市の元若林区長
仙台シルバーセンターを運営する元仙台健康福祉事業団理事長 現在、司法書士の坪田忠宏氏
老テク研究会は坪田氏が仙台市の生涯学習課長時代の
「せんだいメディアテークのありかたを考えるフォーラム（1996）」に参加し、
1998年の仙台シニアネットクラブ創設以来、2013年にもシルバーセンターで開始したシニア向けスマホ講座な
どでご協力いただきました。

利用の手引きを 印刷できるように作成



インターネット防災訓練の手引き (約1.8メガ)



仙台会場



原宿会場

●自治会・町内会でインターネット防災訓練を実施するメリット

高齢者ICT講習会に必要な会場の確保 集客 講師謝礼 参加者への説明がしやすい

- 1 防災訓練は、全国の自治会・町内会が必ず実施するイベントで**目的が明確で実用的**
- 2 スマホを持っている人は、事前準備が不要。
スマホを持っていない人は、持っている人と知り合い、万一の時のつながりをつくれる。
- 3 会場は自治会館や公共施設が利用でき、公園等屋外でも実施できる。
- 4 多くの自治体が防災アプリ利用を推奨しているので**行政と連携しやすく**若い自治体職員による講師支援なども受けられる可能性が大きい。
- 5 **マイナンバーカードのメリットがわかる。**災害後の罹災申請、被災者支援制度を紹介
- 6 防災を口実に地域の人と人とのつながりをSNSでゆるやかに維持できる
- 7 公益性の高い“防災”は若い世代が高齢者に教えることに抵抗感の少ないテーマ
- 8 **高齢の役員たちにとってスマホの情報バリアフリー機能**を知ることがは有益
文字拡大、音声読み上げ、音声入力、字幕など高齢者に便利な機能を伝えられる
- 9 自治会には防災活動用の予算があるので、講師に謝礼ができる。
- 10 参考資料等はネットで無料公開されている

**第11回訓練は
6月1日 渋谷ヒカリエ**